

家族で道徳《生徒意見》

「ほほえみと拍手が絆をつくる」～兵庫県道徳副読本「心かがやく」から～

僕が生まれた時や小さい時の^{記憶}身おくれは余りおぼえてませんが、僕は家族
愛を^覚られて育ってきたと思っております。そして僕が初めて赤ん坊を
間近で見るときは妹が生まれた日でした。その時、見せてくれた
妹の笑顔は今でもおぼえています。

小さいときとは、違っ、て、周りに合わせるということが
できる今、周りとうまく付き合っ、ていくために必要
とされていることは、純粋な笑顔だと思いました。
何かを疑ったり、誰かをほかにしたりするために、
笑顔をつくらなければ、その間で信頼し合うこと
は、できないと思っております。何も考えないよいよう
で、うれしいことがあるとニコッと笑う幼子のように、
相手や自分を明るくするようい、ほほえみを
浮かべられる人が増えてほしいと思っております。
そして、自分自身も周りに気を配りながら
から笑って話せる人を増やしていきたいです。
笑うことによっ、て、雰囲気を良くできるので、自然で
それができたらいいと思っております。

家族で道徳《生徒意見》

「ほほえみと拍手が絆をつくる」～兵庫県道徳副読本「心かがやく」から～

人間は、考え行動する能力が他の生物よりもズバ抜けて高い
ことがわかります。赤ちゃんが笑うと自然に笑みが起こるのは
互いに信頼し合う、愛ほじといった感情が込み上げて
きて暖かい気持ちになるからだと思います。でもその自然で
暖かい笑顔は成長するたびにできなくなっているん
だと思いました。大人には、していくたびに土面だけで表面土
だけで人と関わってしまうんだと思いました。でも、それができる
ようになるのは頭を使って考え知識が増えていくことで自然と他
の人の顔色をうかがって生活するようになるからだと思います。
赤ちゃんの時のように自然で暖かい笑顔を自分のやることまで
広がっていたと思います。そして、笑顔で拍手して人との
絆を大切にこれから生活したいと思いました。

幼少のころから何気なくしていた、拍手やほほえみからこんな小
さな絆をつくらせていたなんて想像もしていませんでした。
でも今でも何百回何千回もほほえんだり拍手をしたらから
今の自分がいるのかなと思います。言葉で語り
より前にほほえみから絆をつむいできたからほほえみを
大切にしたいです。だから今のクラスで絆をつくるには
ほほえみを大切にすると仲間の成功や幸せを笑顔で
拍手できる人間にならなければいけません。

家族で道徳《生徒意見》

「ほほえみと拍手が絆をつくる」～兵庫県道徳副読本「心かがやく」から～

石塚かになんと思いました、小さい子がほほえんでくれると、
とてもあたたかい気持ちになります。今の私達は、うれしい
時や、楽しい時、面白い時に笑う以外にも笑っている
場面があります。心から笑ったりするのがほとんどだ。けれど、
その笑いの中にも皆笑っているから、笑ってあかばきやたらと
り、作り笑いがあると思います。本当の気持ちは
隠して作り笑いで、周りに合わせて笑っているだけ
では、心が疲れてきてしまうから、そのしずきほよくない
と思うけれど、みんなが揃って、揃っていきよで必要な時
はあると思うから、適度にしたいかなんと思います。
そんな中でも、心からの笑顔で拍手を送りあえること、
人と人の絆もより深まるといふ感じが
なりました。

僕は今、友達と一緒に笑っていると思います。でも、それは
周りの人をあたたかくする笑ではないかなんと思いました。
クラスでも、あたたかいほほえみをする人が居て、そういった
人が信頼と愛を築けるんだなと知りました。なので、まずは
気持ちいい笑い、「ほほえみ」をして、周りの人と信頼などを
築いていきたです。また、他の人が成功したり幸せだった
らしたら、ほほえんで拍手をしたです。